

10月14日 大和三山

藤村 敏幸

山名	今井町と大和三山里山歩き	山行名	例会
ルート	今井町見学→ 耳成山 → 香具山→ 畝傍山		
山行日	令和2年10月14日	天候	晴れ
参加者	CL 藤村 SL 中田 永井 佐々木 上杉 玉井 牧之瀬 玉置 竹原絹江 北條 堤		

	コースタイム		
	地名	時：分	畝傍山着
	耳成山着	9:50	
	香久山着	11:30	

秋晴れの下、楽しく談笑しながら大和三山とその周辺の町を回遊することができました。午前8時から今井町を見学するも、観光客はほとんどいなく、通学の学生や子供を送る母親の姿などが見られた。建物案内は午前9時から開始との看板があり、町家の中に入ることもできず中心街の豪壮な住宅を眺めながら一周して見学を切り上げる。大和八木駅まで戻り、近鉄大阪線沿いに東に歩き耳成山登山口に到着。予定より早く着いたので、耳成山の外周をぐるりと一周して頂上に着く。低山で散歩に適しているのか何組かの老人グループに出会う。頂上は木々に覆われ標識もなく大和三山の1座であるが何もない所である。中腹に天神社があり参拝し下山する。山麓南側の池に咲く珍しい水草が、この時期テレビなどで紹介されるホテイアオイであると北條さんが教えてくれた。耳成山から香具山までの途中に藤原京跡があり、有名なコスモスの大群生が見られるかと期待したが、何もなく宮殿跡を示す赤色の柱だけが広大な草原広場に数本建っていた。周辺の田圃では稲刈の最中であった。この辺りも暑さでウンカが発生していた。香具山は他の2山のような三角形ではなく台形でどこが頂上か分かり難い山である。頂上には小さい広場があり北側に粗末な屋代がある。頂上で昼食とするがベンチには先客がおり、やむなく屋代の敷石に腰掛け食べる。頂上の西側の視界は開け、畝傍山や葛城山、二上山がよく見えた。畝傍山への道中にホテイアオイ鑑賞地で有名な本薬師寺跡があり立ち寄る。本薬師寺跡は奈良の西の京の薬師寺の前身である。田圃の畔道を進むがなかなか目指す花がなく、今年はもう開花時期がすぎたのかと諦めているとようやく休耕田に薄い紫色の水草の群生があった。たぶん彼岸花が咲くころが見頃と思われる。後日、ネットで調べると今年はコロナの為、本薬師寺跡のホテイアオイや藤原京のコスモスは植えなかったそうです。畝傍山は三山の中で最も高く、登りは少し急でやっと山らしい登山道に出会えた。何百年もの間多くの人々が登山道がツルツルである岩道を踏みしめて頂上に着く。頂上は訪問者が多いのかよく整備され、ベンチも多数ある。三山を回る途中に万葉集の碑がところどころあり歴史を感じさせる工夫がされていた。歴史好きの人には味わいのあるコースである。畝傍山頂上からは西側に少し降り、その後は山麓を大きく回り、神宮参道に出る。檀原神宮でコロナ禍が早く収まるよう祈り、駅にほぼ予定通りの時間に到着し解散とする。参加者の皆さん、距離は18kmと長いけれど、200m未満の山で楽すぎて達成感がなかったかもしれませんが、懐かしい心と田園風景を見ることができたと思います。竹原さん、前日に1day チケットをわざわざ買い求め、又当日も割引券を購入するなど、少しでも運賃を安くしようと配慮していただきありがとうございました。

ヒヤリハット なし



耳成山頂上



香具山頂上



畝傍山頂上



ホテイアオイ